

令和4年度 香川短期大学

学校推薦型選抜後期・一般選抜後期

『小論文』問題用紙

あるテレビ番組でのやりとりがとても印象に残っている。人生において「やりたいこと」と「できること」のどちらに重きを置くのがよいかというものであった。

番組に出演していた林修さんは、人間にとって「やりたいこと」は偶然であり、「できること」は必然だという。なぜなら、「やりたいこと」とは人間の願望であり、それは環境や情報など外部の要因によりもたらされるのであるから、偶然の産物である。それに対して「できること」は、その人が訓練によって身につけたものであり、それが秀でた内容であれば多くの人が賞賛してくれるのだから、必然であるというのだ。

この話題は職業選択を考える上においても示唆を与えてくれる。働く上で「やりたいこと」と「できること」が一致することは理想だが、なかなかそうはいかない。そんな場合は「できること」に重点を置き、それを増やしていく方が安全で実り多い人生を送れるのではないか。例えば、仕事を行う上で「できないこと」を要求されても、努力して「できること」に変えていけば自分の可能性を伸ばすことに繋がるし、自分に自信が持てるに違いない。だから私は「できること」を大事にする方がよいと考える。もちろん、「やりたいこと」の追求を否定するわけではないが、その場合はリスクを受け止める覚悟が必要であろう。

設 問

上記は、一つの考え方であり、賛否があっても当然である。これを参考にあなたの職業観について自分でタイトルを考え、自身の経験や他者からのアドバイスなどを盛り込んだ小論文を800字以内で作成しなさい。

明治時代に提唱された教育の考えに「五育」がある。五育とは「智育」「徳育」「体育」「食育」「才育」を指す。この時代の医師・薬剤師であった石塚左玄（1851-1909年）は、「体育智育才育は即ち食育なり」と食育の重要性を説いている。そこから100年以上経って制定された食育基本法（平成17年7月施行）の前文には『子どもたちが豊かな人間性をはぐくみ、生きる力を身に付けていくためには、何よりも「食」が重要である。今、改めて、食育を、生きる上での基本であって、知育、徳育及び体育の基礎となるべきものと位置付けるとともに、様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てる食育を推進することが求められている。』とある。

最近、よく耳にする「持続可能な開発目標（SDGs）」の目標2はテーマそのものが「飢餓をゼロに」となっているが、残り16の目標の具体的な説明文においても「食料」「漁業」「農業」「栄養」「水」など食に関係の深い用語が数多く使われている。それほど、我々が豊かに生きるために「食」は重要なのである。

設 問

この文章を読んで、「食育」に関連するタイトルを考え、自身の経験を盛り込んだ小論文を800字以内で作成しなさい。